

習近平政権下の中国政治

2016年10月6日 於駒場キャンパス8号館210号室 法学政治学研究科 高原明生

比較政治学の枠組みに沿って

I. 政治体制

1. イデオロギー

- (1) 純粋イデオロギー：マルクス・レーニン主義
- (2) 実践イデオロギー：毛沢東思想、鄧小平理論、「三つの代表」重要思想（江沢民）、科学的発展観（胡錦濤）
「中国夢」（習近平）？
- (3) ナショナリズム：政権の支配の正統性を支える一本の柱
ナショナリズム (a) 上からの——「中華民族の偉大な復興」、愛国主義教育、日本、安倍批判
(b) 下からの——『ノーと言える中国』、外国製品ボイコット等
Cf. 「社会主義核心価値」——効果なし、儒教——党内の意見不一致

2. 政治エリート

- (1) 党官僚の地位向上？（Cf. 「専」と「紅」の関係：文革から改革開放へ—テクノクラートの台頭）
- (2) 「紅二代」政権
革命二世代が中核を成す政権（習近平、俞正声、王岐山ら）、オーナーシップ意識高し

3. 統治機構

- (1) 党の領導の強化
党の発言権強化、政府の役割の縮小（中央領導小組増設、中央規律検査委員会の役割拡大）
メディア、教育、NGO への統制強化
- (2) 中央—地方関係
「諸侯」の面従腹背、反腐敗による統制強化
- (3) 軍の大改革
七大軍区⇒五戦区に再編、中央四総部制（参謀部、政治部、後勤部、装備部）廃止等

II. 政治闘争

1. イデオロギー闘争、政策論争

- (1) 経済——改革か、景気か
- (2) 政治——反腐敗、制度改革、普遍的価値
- (3) 外交——「韜光養晦」、行動第一主義、対日、対北朝鮮

2. 官僚政治

- (1) 党中央—国務院
- (2) 中央規律検査委員会—地方
- (3) 外交部—軍、海警、石油、漁業部門？

3. 派閥抗争

- (1) 江沢民——上海、第一機械工業部
- (2) 胡錦濤——共産主義青年団（共青団）、チベット
- (3) 習近平——太子党、浙江、福建、上海

III. 政治課題

- 1. 国民統合、統一
- 2. 持続可能な発展
- 3. 反腐敗
- 4. 倫理道徳体系の構築
- 5. 政治改革、法治化